



高崎中学校だより

生徒が生き生きと活躍する「生徒が主役の高中」



5/25 (木) 生徒総会

「生徒が主役の高中」ですが、生徒総会は、まさしく「生徒が主役」の行事です。生徒会役員、専門委員、議長（3年2名）が力を合わせて運営を行いました。

さらに、協議では3年生を中心に活発な意見、反論がなされ、充実した内容の生徒総会になりました。どの学年も「自分事」として考え、自分たちの意思を表現しようとする姿がすばらしかったです。「やれば、できる」と校長先生の言葉にあるように、「やろうとする気持ち」を「実行に移す」、その繰り返しで成長に繋がるはずで、今後は具体策を検討し、生徒全員で実行することを期待しています。



校外活動

5月19日(金)1年生「御池青少年自然の家体験学習」

5月17日(水)～19日(金)2年生「修学旅行」

5月18日(木)3年生「宮崎市内外学習」

5月17日～19日にかけて、1年「体験学習」2年「修学旅行」3年「校外学習」を行いました。

右は、1年生が自分たちで作ったカレーを食べている様子です。屋外で友達と食べるカレーは、ひと味もふた味も違ったようです。



左は3年生がフェニックス自然動物園で楽しんでいる様子です。雨模様でしたが、バスの中も含めて、大変盛り上がったようです。

中総体前、高校受験、進路選択…いつも、どこか気が張りつめているのが3年生です。よい気分転換が次の活力になることを願っています。

最後に修学旅行です。その詳細は学校ホームページでもご覧いただけます。怪我や病気もなく全員で楽しみ、全員無事帰校しました。



修学旅行（平和学習）

教頭の霧島日記

〔GRITグリット（非認知スキル）について〕
○Guts（困難に立ち向かう力）
○Resilience（失敗しても諦めない力）
○Initiative（自ら目標を定めて取り組む自主性）
○Tenacity（最後までやり遂げる執念）
上記の言葉は、都城市第1回教頭会で児玉教育長が紹介された言葉です。

「GRIT」(アンジェラ・ダックワーク著)によると、「人生において成功の鍵を握っている能力とは何か。」という研究に取り組んだ結果、IQが高くて成績が良いとは限らないこと、IQが低くても「GRIT」があれば優秀な成績を収めていることに気づき、「何事もあきらめず忍耐強くやり抜く能力」が大切だということに科学的にたどり着いたそうです。

つまり成功するかどうかは、生まれ持った才能で決まるのではなく、やり抜く力や忍耐力に左右されるということです。

校長先生も常々「やればできる」と集会の度に生徒に話をされています。まさに「GRIT」の考え方です。

学力向上ばかりが話題になりますが、その土台を育むことの重要性を、児玉教育長の話を通して、改めて考えることができました。

5/29 中総体激励式

今週から始まる中総体に向けて激励式を行いました。各部ともに主将が意気込みを述べました。どの部も集団行動がすばらしく、主将の号令で「着座」「失礼します」と声を揃え、動作も皆揃っていました。

また、男子ソフトテニス部主将八木大雅さんの選手宣誓も堂々としていて立派でした。

「チーム高崎」心を1つに頑張ります。保護者の皆様の熱い声援をお願いいたします。

